

紫波町かいわい IT 事情

紫波町 IT サポートコーナーを運営するゴーフォワードジャパンが発信します

特集 中綴じ製本で小さな冊子を作ろう

たとえば、歌集や詩集、地域の歴史研究 ...
印刷会社に注文するほどの部数はいらないけど、冊子にまとめて知人に読んでもらいたい！

そんな時は中綴じ製本で冊子を作りましょう。

用紙を二つ折りにして真ん中をホッチキス止めするのが中綴じ製本、A5サイズの冊子ならA4用紙で作ることができます。

筆者調べですが、フルカラー印刷でA5サイズの中綴じ製本で40ページもの場合、100部で4万円台からネット印刷で注文できるようです。部数で割ると一部400円から500円です。100部を持って余さない自信があるかどうか。



- ① 原稿を用意します。もちろん、これが一番重要です。
- ② LibreOffice WriterなどのワープロソフトでA5サイズ縦のページ設定にします。
- ③ 表紙や目次の有無を考えながらレイアウトして、表紙と裏表紙を含めて4の倍数のページを用意します。完成したらPDFで保存します。
- ④ Adobe Acrobat Readerで開きます。見開き表示で意図通りのレイアウトになっていることを確認します。プリント画面を開いてページサイズ処理で小冊子を選ぶと小冊子用のページ割り付けでプリントすることができます。

① 原稿作りのポイントは

例えば、地域の歴史や言い伝えなどをまとめるときに、どのような点に配慮すれば他の地域の人にも理解しやすいでしょうか？ ---Bing AIに聞いてみました。

言葉遣い：専門的な用語や地元独特の方言を避け、一般的に理解しやすい言葉を使用することが重要です。必要な場合は、専門用語についてはその定義や意味を説明することで理解を深めることができます。

背景情報：地域の歴史や言い伝えが生まれた背景や文化的な文脈を説明することで、他の地域の人々がその意味を理解しやすくなります。これにより、地域の歴史や言い伝えが単なる事実ではなく、その地域の人々の生活や価値観を反映したものであることを理解する手助けになります。

視覚的な要素：写真、地図、図表などの視覚的な要素を使用すると、テキストだけでは伝えきれない情報を効果的に伝えることができます。特に地理的な情報や比較的複雑な事象を説明する際には有効です。

これらの点に配慮することで、地域の歴史や言い伝えを他の地域の人々にも分かりやすく伝えることができます。

ワープロソフトがおせっかいに感じる理由を250字以下でまとめてくださいとBing AIに頼んでみました。

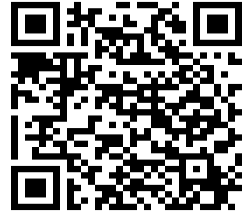
ワープロソフトがおせっかいに感じる理由は、主に3つあります。1つ目は、自動補正機能がユーザーの意図したスペルや表現を修正しようとすることです。これは、ユーザーが特定のスペルや表現を意図的に使用している場合には邪魔になります。2つ目は、自動的な書式設定が個々の要素のカスタマイズを阻むことです。これは、ユーザーが個々の要素に対して独自の書式設定を行いたい場合には不便です。3つ目は、予測入力がユーザーの意図と異なる単語やフレーズを提案することです。これは、ユーザーが特定の単語やフレーズを探している場合には混乱を招くことがあります。これらの機能は、作業を効率化するために設計されていますが、時と場合によっては邪魔に感じることもあります。それぞれのワープロソフトでは、これらの機能をカスタマイズしたり無効化したりすることが可能です。

「ファブラボ紫波でステッカーを作ろう」イベントを随時実施中

② ワープロソフトは LibreOffice Writer がお勧め

LibreOffice Writerは無料で使えるソフトです。サブスクリプションで毎年の出費が気になっている方は試してみる価値があります。長文作成には、「LibreOffice Writer で書籍制作」という資料が参考になります。（右のQRコードからダウンロード）

<http://ikuya.info/tmp/libo/libreoffice-writer-book.pdf>



ワープロソフトの**アウトライン機能**は、文章の構造を整理し、視覚的に把握するためのツールです。まず、各セクションの**見出し**を作成します。これがアウトラインの「骨格」になります。次に、各見出しに対応する本文や詳細を追加します。これにより、文章全体の流れを一目で把握し、必要な部分に素早くアクセスできます。また、見出しをドラッグ&ドロップするだけで、セクションの順序を簡単に変更でき、文章の再編成も容易になります。

③ 表紙と裏表紙を含めて4の倍数のページでレイアウトします

A4用紙1枚に4ページ分印刷されるので、表紙と裏表紙を含めてページ数を4の倍数にします。新しいページに切り替えるときには**改ページ**を挿入します。見出しから**自動的に目次を作る機能**や**ページ番号**をつける機能も便利です。図を特定のテキストやページ位置に配置するときには**アンカーの設定**を行います。

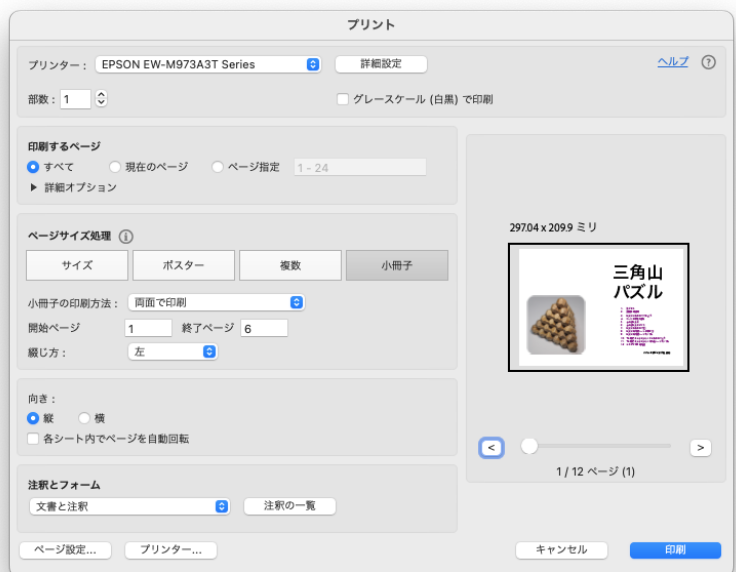
中綴じ冊子用の印刷は**Adobe Acrobat Reader**を使えば簡単なのでPDFファイルで出力します。

④ Adobe Acrobat ReaderでPDFファイルを開きます。

見開き表示で意図通りのレイアウトになっていることを確認します。プリント画面を開いて**ページサイズ処理で小冊子を選ぶ**と小冊子用のページ割り付けでプリントすることができます。自動でページ割り付けされるのでとても便利です。

両面プリントが出来上がったら、二つ折りします。冊子のページ数が多すぎるときれいに折ることが難しくなりますので、40ページぐらを目安にするのが良いと思います。

折れ目の中心にホッチキスで止めますが、中綴じ用のホッチキスが3000円ぐらいで販売されているのでお勧めです。ITサポートでもお貸ししています。



Acrobat Readerでの小冊子設定

「紫波町かいわいIT事情」は無料で使えるリブレオフィスDRAWで作成しています。

ITサポートコーナーとファブラボ紫波

パソコンやスマホを使っていて困ったことがあったら、ITサポートコーナーでいっしょに考えて良い方法を見つけましょう。3Dプリンターやレーザーカッターに興味のある人はファブラボ紫波に相談してみましょう。

紫波中央駅近くの紫波町情報交流館2階で、金曜日、土曜日の10時から16時までオープンしています。（情報交流館の休館日はお休みです。）「紫波町かいわいIT事情」をメール配信します。ご希望の方やその他問い合わせは info@go-forward-japan.org まで。

